

道の駅「青雲橋」新施設が完成

日之影町

以上買い物をした人を対象に毎日先着10人に日之影温泉駅入浴無料券をプレゼント。ひのかけ写真展「やおこしロードフェス」も。また、道の駅「青雲橋」では、の整備などの工事を引き続き実施。全てが完成するのは今秋を見込む。現在は普通車など約40台が駐車できる。

道の駅「青雲橋」新施設が完成

国道218号沿いにある日之影町の道の駅「青雲橋」の新施設が完成し、きょう、プレオープン式典があった。県内外の人が次々と訪れ、真新しい施設を見学しながら特産物の買い物や飲食を楽しんだ。

新施設は、旧施設の南側に建てられ、県産材を多用して、床面積は約985平方メートル。1階部分は、特産品一機能トイレ、授乳室、町



リニューアルした道の駅「青雲橋」のプレオープン式典（きょう午前）



オープンを待ちわびた多くの人々が来場

観光協会事務所、観光案内所を設置した。2階部分は、研修室など2部屋と展望デッキを設けた。事業費は国の地方創生拠点整備交付金1億8000万円を含む3億773万円。式典では、佐藤町長が「日之影の拠点となる施設。町の特産、農産品など多くの品物をそろえているので観光客に喜んでもらえる施設になると確信している」とあいさつ。来賓4人が祝辞を述べた。式典後には先着200人に紅白餅が配られ、訪れた人が町産の野菜やわら細工や陶器といった特産品などを手に取っていた。道の駅「青雲橋」では、



きょうから10連休

県北各地 初日から多くの人出

きょうからゴールデンウィーク。10連休の初日は延岡市内の各所でさまざまなイベントが開かれた。期間限定のコラボ企画「合同GWフェスタ」画「合同GWフェスタ」連休初日から多くの人出でにぎわう道の駅「北川はゆま」(きょう午前)

を開催中のハルストピア延岡と市内3つの道の駅には、朝から多くの家族連れが訪れた。また「岩手県産の新鮮な野菜」を届けた延岡市北浦町の牡蠣家でも旬の岩ガキに舌鼓を打つ多くの人でにぎわった。このうち早朝から駐車場の車があふれた延岡市北川町の道の駅北川はゆま(脇坂光一支配人)では、市外・県外客の姿が目立ち、延岡の特産品などを買い求めている。同道の駅は整備中の第3駐車場を20日から5月6日まで期間限定で開放する。時間は午前8時か

午後5時までで、利用対象は国道10号から入場する乗用車に限る。脇坂支配人は「期間中はハルストピア延岡との合同企画はじめてのまな権しを開催予定。10日間5万人の来場者数を目標にしたい」と話した。